

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レッドエンジェル		
○保護者評価実施期間	2025年3月17日		～ 2025年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年3月17日		～ 2025年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者間での交流やコミュニケーションが積極きにとれている。	上級生が下級生がお世話ができるように、スタッフ及び利用者を巻き込んで促すようにしている。お世話をする事でしていただいた側は感謝をもち、させていただいた側は、成功体験をすることができる。お互いが学べる共育の場として提供している。	現在、長年利用していただいている利用者さんが多く自然とお世話できる流れを作っているが、新規利用者へもその意図が伝わっていくようなシステムを構築していく。
2	食育活動を通じての食事改善を行っている。	定期的に食事活動として、おやつ作りを行っている。おやつ作りを自分ですること、今まで食べることができなかった食べ物や食べてこなかった食材、料理を食することができる。	おやつ作りなどを行う上で、長時間集中できない利用者も現実的にはいるので、作業工程の細分化などを図り、短時間で何回でも取り組めるようにしていく。
3	長期連休中での田畑での体験を通じ体感訓練、自然観察などを行っている。	田畑での農事作業については、利用者の個々の状況によっても、難しい場合もあるが田畑を歩く事や遊ぶことはハードルが低く参加しやすい。整地されていない畦道などを散歩することで体感訓練となる。また、同時に自然散策ができる。	田畑での経験を通じて、食べ物のありがたさを伝えることは多少できるが、自然と共生があって成り立つことを伝えていく。課題としては大きい課題だが少しでも理解できるように努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遠方への外出などの遠足ができない。	2時間以上かかる遠方への外出は、送迎の兼ね合いなどで出来ないことが多い。またスタッフも外出時には、普段より多めに必要。	現在、幸い遠方への外出を希望される保護者の方があまりないが、希望が増える場合は、外出日を固定し実施していく必要があるか、しないという選択を行っていく。
2	低学年の利用者が少ない。	長年にわたり利用してくださる方が多いので中々空きが出ないのが実情である。	長年利用してくださる利用者がみえるので、今すぐに受け入れについて変更は難しい。しかし、今後を考えると受け入れの枠組みについて工夫していく。
3			